

つくばサイエンス PTAだより

第 1 号

12月1日現在	在籍者数
1年	175
2年	68
3年	78

PTA会長 金森 英里

「PTAの皆様へ」

PTA活動への参加に拒否感が有る方や関心の少ない方に読んで頂ければと思い書き記します。

まず皆さん、高校のPTAは何をすることとお思いでしょうか。小中学校のPTAで面倒な思いをした保護者は如何にしてこのタスクから逃げるかを考えるのが一般的であるとも聞きます。しかし、昨今のPTAに対する課題感が共有されつつあるせいか、少なくとも本校PTAの実務は、非常に負担感の無いものとなっていると言えます。

（あ、正直申しまして会長は年に数日、平日行事対応が有りますので、それが無理なら辞退された方がよろしいです、楽しいですが。）具体的には文化祭のお手伝いと年に数回、夕方の会合が有るだけ。文化祭のお手伝いだけ参加、も可能です。詳細は秘密にしますがおいしい思いができます。

負担面ではなく、PTA活動参加による利点についても書いてみます。端的に言って、割くリソースに対するメリットが大きいと思います。

- ・学校活動へ主体的に活動することで充足感を得ます。
- ・知らない人が知らない人でなくなることで世界が広がります。
- ・PTAの一要素、T(先生)との距離感が縮まります。

これらは親側の心理的安全性が確保されることに繋がります。更に親のみならず子どもに良い影響となりえるでしょう。距離が近くなることで見えてくる本校の良い所は、教員の皆さんが、それぞれの強みを主張できる学校で有る点です。専門性を持つ先生方が多いせいもあるのですが、それぞれの個性をお互いに認めあっている教員集団だと感じており、実は毎回のPTA会合でそれを感じるのが楽しみの一つでした。

一年好きなように楽しませていただきましたこと、感謝申し上げます。

これを読んだ方が安心感を持って、出来る範囲でPTA活動に少しでも顔を出してみようかなと思っていただければ幸いです。

学校長 石塚 照美

「一緒に生徒の未来を考える組織として」

保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、本当に感謝申し上げます。また、PTA本部役員の皆様を中心に、文化祭での模擬店出店、さわやかマナーアップ運動へのご協力、高P連でのご発表など、多岐にわたる活動に、多くの方のご参加、ご協力をいただきました。この場を借りて、改めて厚く御礼申し上げます。

今年度でつくばサイエンス高校は3年次生までそろい、4月には普通科の一期生が入学いたしました。科学技術科と普通科の併置校として、新たなスタートを切ることができたと実感しております。科学技術科1期生である3年次生は、10月25日に課題研究発表会を行いました。2年間の研究の成果と今後につながる展望を、本校のサイエンスアドバイザーや茨城県の教育アドバイザー、県教育委員会の方々を含めた大勢のギャラリーの前で堂々と発表しました。その3年次生も、いよいよ卒業の時を迎えます。1期生として、実に新しいことの数々にチャレンジし、精いっぱい努力してくれた生徒たちです。

本校は、文部科学省のDXハイスクール認定校をはじめ、茨城県の科学技術教育の拠点校として、様々な取り組みをしています。生徒たちは、授業以外にも校内・校外を問わず、多くの体験や経験を積む機会があります。その機会を十分に生かし、進路実現はもとより将来に役立ててほしいと切に願っております。それには、保護者の皆様の力強いご協力が必ず必要です。

さて、本校は生徒の活動をより強力にバックアップするため、この度PTA組織と後援会組織を統合し、新たな組織としてスタートいたします。これは、「生徒とつくばサイエンス高校の最強の応援団」としての体制を、より一層強固にするための前向きな一歩です。ぜひ、一緒に生徒たちの未来を考える組織として、今後ともご協力とご支援をいただきますよう、心よりお願い申し上げます。

広報出版委員会

文化×サイ 6/14（土） スポーツフェスティバル 10月17日（金） 取材活動

6月14日（土）
と10月17日（金）
に取材活動を行いました。

普段の授業参観
とはまた違った学
校行事での、生徒
やクラスでの様子
を、写真撮影を通
して感じ取ることが
できました。



生徒支援委員会

さわやかマナーアップキャンペーン事業 11月12日（水） 本校・みどりの駅

11月12日（水）に
さわやかマナーア
ップキャンペーンを
行いました。

朝の登校時のあい
さつや呼びかけに
生徒たちは元気に
応えてくれました。

また、周辺住民の
方々とのあいさつ
やふれあいもあり、
地域に愛される学
校になりたいと思
います。



編集後記

広報出版委員長 吉田 恵都子

今年度の広報出版委員会は、文化サイとスポーツフェスティバルについて、取材活動をさせていただきました。学校行事での生徒たちの雰囲気や活動する様子を、レンズ越しに伺うことができるととても良い機会となりました。普段、学校の様子は家庭で聴いてはおりますが、やはり実際に足を運んで感じてみることは良いことだと思いました。

是非、ご興味のある方は参加されてはいかがでしょうか。